組立・施工説明書 リアルポートⅢ レギュラー壁付タイプ

'14-10月 発行　1ページ

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後で…
取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、＜　＞で同梱先を表示しています。

チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している
「**チェックマーク**」の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	シーリング	
❷	基礎寸法	
❸	柱の間隔・垂直・屋根の直角・雨樋枠の水勾配	
❹	側枠・垂木取付ねじの締付け	
❺	柱の水抜き穴	
❻	屋根材ののみ込み	
❼	屋根材押えの押しあて	
❽	屋根材押え取付ねじの締付け	

注　意

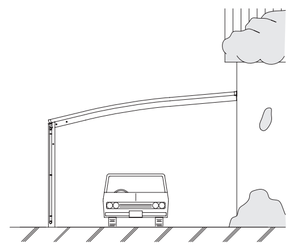
●このカーポートは積雪～20cm 地域用（積載荷重 600N/m²（61.2kgf/m²））です。
積雪量が 50cm を超える前に雪おろしをすることを施主様に確認してください。
商品が破損するおそれがあります。
※雪おろしの目安は、積雪 1cm 当たり 30N/m² で計算しています。湿った雪の場合等は、1cm 当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
●風の強い場所では、補助柱（オプション）を取付けてください。
●カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
商品に倒壊のおそれがあります。
●屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、４～７日の養生期間が必要です。
●脚立を使用する際は、天板の上に乗ること、またがること、座ることが禁止されています。
脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。

シーリングは必ず実施してください!

●「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。
●外壁面とのシーリングは、プライマーを塗布し、伸縮性に優れた変成シリコーン系シーリング材をご使用ください。（別途手配品）
※外壁の種類によっては変成シリコン系シーリング材が適さない場合もありますので、事前に外壁との相性を確認してください。
●目地の深い外壁やタイルに部材を取付ける場合、目地に先打ちシーリングを行ってください。
●ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）

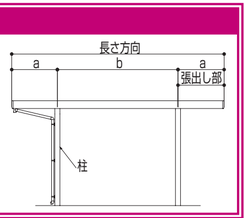
お願い

●屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようにご配慮ください。（図参照）
●みだりに改造や変更はしないでください。
●基礎コンクリートには**塩素系の混和剤（急結剤等）や海砂を使用しない**でください。
柱の腐食の原因となります。
●屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。
太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
●凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
●組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
●ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因になります。
●カーポートの上に乗らないでください。カーポートにはしごをかけないでください。
カーポートの破損だけでなく落下事故の原因になります。
●部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。



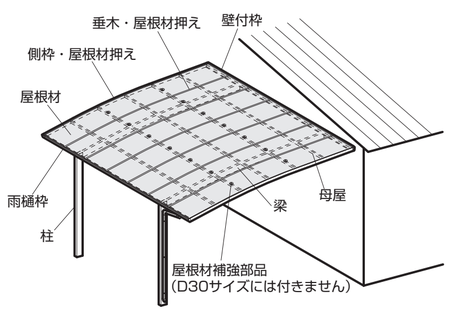
注　意

長さ方向張出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



全体構成図

積雪～20cm地域用（600N/m² 仕様）

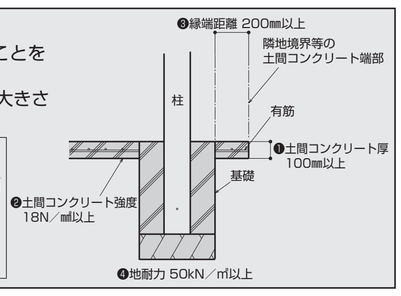


寸法図(単位：mm)

土間コンクリート考慮基礎条件

本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

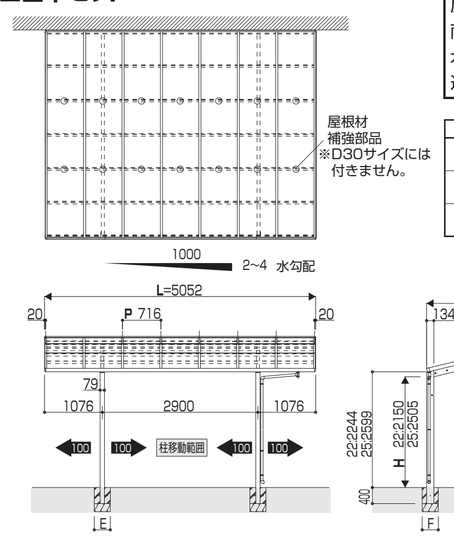
基礎条件
❶土間コンクリート厚　：100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度：18N／㎟以上
❸縁端距離　　：200㎜以上
❹地耐力　　：50KN／㎡以上



お願い

屋根の長さ方向に水勾配 $\frac{2\sim4}{1000}$ mmをつけてください。
雨樋側の柱高さを6～14mm低くすると、$\frac{2\sim4}{1000}$ mmの水勾配になります。
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

■基本セット



呼称	D	H	A	B
D30	3005	2150	2620	2814
		2505	2975	3169
D35	3479	2150	2674	2869
		2505	3029	3224
D39	3900	2150	2708	2903
		2505	3063	3258

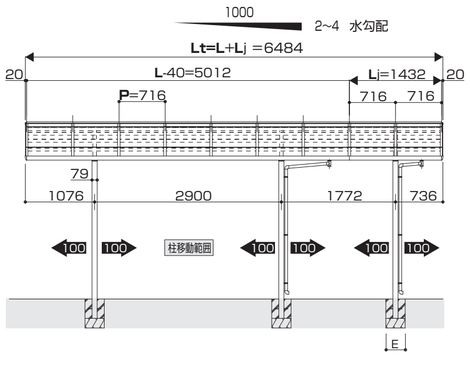
●土間コンクリート考慮基礎の場合
※採用条件については、
土間コンクリート考慮基礎条件を参照

カーポートサイズ	全サイズ
基礎寸法E×F	410×410

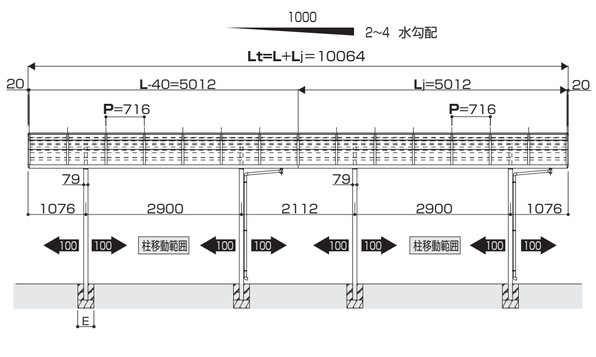
●独立基礎の場合

カーポートサイズ	D30・延長D30	D35・39、延長D35・39
基礎寸法 E×F	540×540	690×690

■基本+延長セット



■たて連棟



同梱一覧

■柱ユニットHCA-(DS)NA###

	部材	部品										
姿図	—											—
部材・部品名	柱	たて樋	呼び樋	柱アンカー	柱取付裏板	柱カバー	雨樋セット	座金組込六角ボルト(M8×25)	座金組込六角ボルト(M6×20)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	穴塞ぎシール(φ14)	組立・施工説明書
品番		K-34805	K-34805	K-11711	3K-19549	5K-17921	EA-E1	2K-17611	2K-16224	ET-5010	K-40433	—
備考								柱・梁取付用	梁取付用		柱移動用	
HCA-(DS)NA22	2	1（L=2100）	1（L=1300）	2	4	2	1	8	4	190	12	1
HCA-(DS)NA25	2	1（L=2450）	1（L=1300）	2	4	2	1	8	4	190	12	1
HCA-(DS)NA22##-1T	1	1（L=2100）	1（L=1300）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HCA-(DS)NA25##-1T	1	1（L=2450）	1（L=1300）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HCA-(DS)NA22A	2	1（L=2100）	1（L=1300）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HCA-(DS)NA25A	2	1（L=2450）	1（L=1300）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■梁ユニット HCA-(DS)NB##-#

部材名	梁
品番	—
HCA-(DS)NB##	2
HCA-(DS)NB##-1	1

■側枠ユニット HCA-(DS)NC##

	部材			部品						
姿図	—	—	—							
部材・部品名	左側枠	右側枠	屋根材押え	パッキン	雨樋枠キャップ	雨樋枠キャップ	壁付枠キャップ	壁付枠キャップ	ドレン	穴隠し
品番	—	—	—	3K-21853	2K-39039	2K-39040	2K-31206	2K-31207	2K-31200	K-36937
備考			（側枠用）							
個数	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1

■ 雨樋枠・母屋ユニット HCA-(DS)ND51##

部材名	雨樋枠	母屋
品番	—	—
HCA-(DS)ND5130	1	4
HCA-(DS)ND51	1	5

■雨樋枠・母屋ユニット（延長セット用）　HCA-(DS)ND14##

	部材		部品									
姿図	—	—										
部材・部品名	雨樋枠	母屋	前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材	柱アンカー	柱取付裏板	柱カバー	雨樋セット	ドレン	穴隠し	座金組込六角ボルト(M8×25)
品番	—	—	3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287	K-11711	3K-19549	5K-17921	EA-E1	2K-31200	K-36937	2K-17611
HCA-(DS)ND1430	1	4	1	1	1	4	1	2	1	1	1	1	4
HCA-(DS)ND14	1	5	1	1	1	5	1	—	1	1	1	1	8

	部品		
姿図			
部材・部品名	座金組込六角ボルト(M6×20)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	屋根材補強部品
品番	2K-16224	ET-5010	5K-15483
HCA-(DS)ND1430	2	94	—
HCA-(DS)ND14	2	101	4

■壁付枠ユニット HCA-(DS)NN##

	部材	部品					
姿図	—						
部材・部品名	壁付枠	バックアップ材	穴塞ぎシール(φ14)	皿木ねじ(φ3.8×40)	カラー	ワッシャ	座金組込コーチねじ(φ6×90)
品番		K-27652	K-40433	WF-3840	K-32761	K-6365	3K-15126
備考			壁付枠穴位置変更用	壁付枠仮固定用	壁付枠仮固定用	壁付枠仮固定用	壁付枠取付用
HCA-(DS)NN51	1	1（L=5012）	12	2	2	2	12
HCA-(DS)NN14	1	1（L=1432）	12	2	2	2	4

■垂木ユニットHC#-(DS)#E51##

部材名	垂木	屋根材押え
品番	—	—
HCS-(DS)RE5130	6	6
HCA-(DS)NE5135	6	6
HCA-(DS)NE5139	6	6

■部品ユニット　HCA-(DS)NG51

姿図									
部品名	柱アンカー	柱カバー	雨樋セット	屋根材補強部品	座金組込六角ボルト(M6×20)	座金組込六角ボルト(M8×25)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	穴塞ぎシール	組立・施工説明書
品番	K-11711	5K-17921	EA-E1	5K-15483	2K-16224	2K-17611	ET-5010	K-40433	—
備考						柱・梁取付用		柱移動用	
個数	2	2	1	14	4	16	202	14	1

■連棟垂木ユニット　HC#-(DS)#EJ####

部材名	垂木	連棟垂木	屋根材押え
品番	—	—	—
HCS-(DS)REJ30	—	1	1
HCA-(DS)NEJ14##	1	1	2
HCS-(DS)REJ1430	1	1	2

■連棟部品ユニット　HCS-(DS)RGJ30

姿図							
部品名	前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材	ドレン	穴隠し	トラスタッピンねじ(φ5×10)
品番	3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287	2K-31200	K-36937	ET-5010
備考							壁付枠・雨樋枠・母屋連結用
個数	1	1	1	4	1	1	15

■ジョイント材ユニット CC#-(DS)#G#JN

姿図	
部品名	ジョイント材
品番	5K-19110
CCD-(DS)WG2JN	2
CCA-(DS)NG1JN	1

■屋根材ユニット（厚さ：1.8mm）

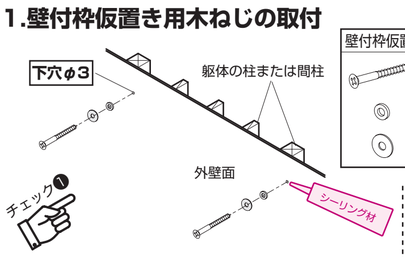
ユニット記号	サイズ 長さ	サイズ 幅	数量
CCS-(DS)RF30-2＊#	2995	706	2
CCS-(DS)RF30-3＊#			3
CCS-(DS)RF30-4＊#			4
CCS-(DS)PF30-2＊#	3471	700	2
CCS-(DS)PF30-3＊#			3
CCS-(DS)PF30-4＊#			4
CCA-(DS)NF39-2＊#	3893	700	2
CCA-(DS)NF39-3＊#			3

末尾の＊#は屋根材の種類を表わします。

組立・施工説明書 リアルポートⅢ レギュラー壁付タイプ

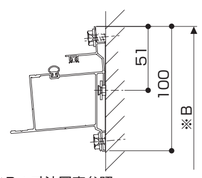
組立・施工要領

1.壁付枠仮置き用木ねじの取付



壁付枠仮置き用 〈壁付枠ユニット〉
皿木ねじ（φ3.8×40）
カラー
ワッシャ

壁付枠取付高さ



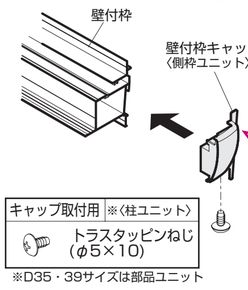
※B：寸法図表参照

お願い

木ねじは躯体の柱・間柱に下穴（φ3）をあけ、シーリング材を充てんしてから取付けてください。

2.壁付枠の取付

❶壁付枠にキャップを取付けてください。



キャップ取付用 ※〈柱ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

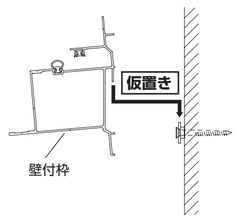
※D35・39サイズは部品ユニット

シーリング

シーリング材を充てんし、取付けてください。

❷壁付枠を取付けてください。

壁付枠取付用 〈壁付枠ユニット〉
座金組込コーチねじ（φ6×90）

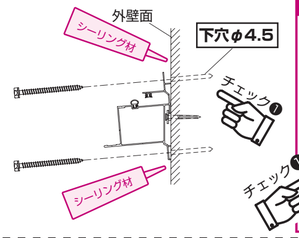


お願い

コーチねじは躯体の柱・間柱に下穴をあけ、シーリング材を充てんしてから取付けてください。

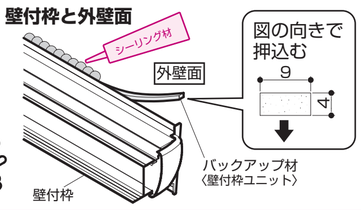
ポイント

壁付枠のコーチねじ取付穴と躯体の柱および間柱位置が合わない場合は、現場寸法に合わせて壁付枠に穴をあけてください。
既存加工穴は穴塞ぎシール〈壁付枠ユニット〉を貼ってください。

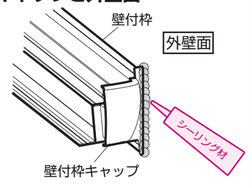


シーリング

壁付枠と外壁面



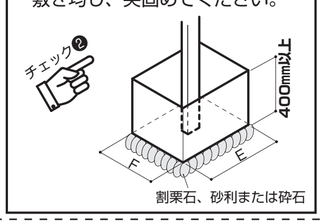
キャップと外壁面



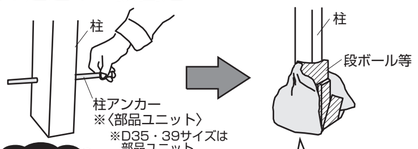
3.基礎の施工 寸法図をご覧ください。

お願い

- 地盤のゆるいところでは、さらに大きくしてください。
- 割栗石、砂利または砕石を敷き均し、突固めてください。

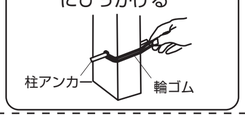


4.柱の建込み・仮固定



ポイント

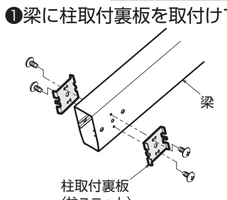
柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーにひっかける



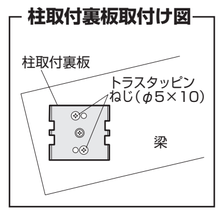
- 土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
- キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

5.梁の取付 D30サイズの場合

❶梁に柱取付裏板を取付けてください。

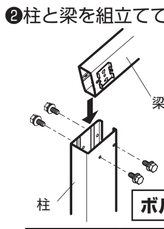


柱取付裏板取付け図



柱取付裏板取付用 〈柱ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

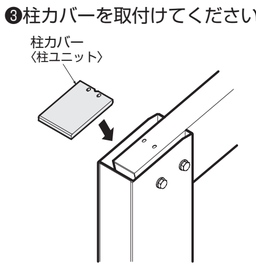
❷柱と梁を組立ててください。



柱・梁取付用 〈柱ユニット〉
座金組込六角ボルト（M8×25）

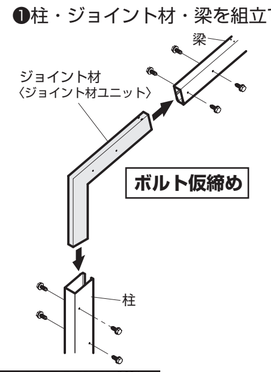
※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

❸柱カバーを取付けてください。



D35・39サイズの場合

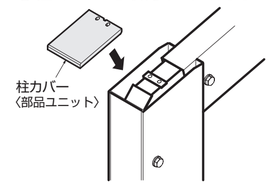
❶柱・ジョイント材・梁を組立ててください。



柱・梁取付用 〈部品ユニット〉
座金組込六角ボルト（M8×25）

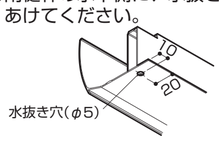
※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

❷柱カバーを取付けてください。



6.雨樋枠の取付 ※長さ切詰めする場合は、**長さ切詰めする場合**を参照

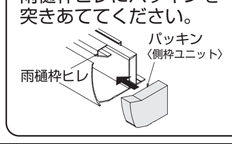
❶雨樋枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。



❷雨樋枠にパッキンを取付けてください。

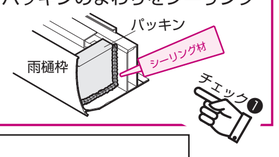
ポイント

雨樋枠ヒレにパッキンを突きあててください。

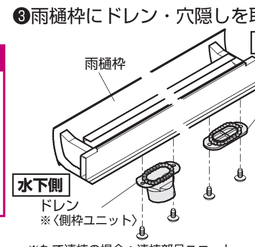


シーリング

パッキンのまわりをシーリング



❸雨樋枠にドレン・穴隠しを取付けてください。



ドレン・穴隠し取付用 ※〈柱ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

※D35・39サイズ：部品ユニット

※たて連棟の場合：連棟部品ユニット
※延長セットの場合：延長セットの雨樋枠・母屋ユニット

ポイント

ドレンの向きに注意してください。

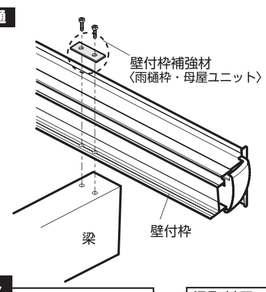
❹雨樋枠を取付けてください。

雨樋枠取付用 ※〈柱ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

※D35・39サイズ：部品ユニットおよび、雨樋枠・母屋ユニット

D30・35・39サイズ共通

壁付枠に梁を取付けてください。



柱を移動した場合

- 梁位置に合わせて、壁付枠・雨樋枠・母屋に穴をあけてください。
- 既存の加工穴には穴塞ぎシール※〈柱ユニット〉を貼ってください。
  ※D35・39サイズ：部品ユニットおよび雨樋枠・母屋ユニット

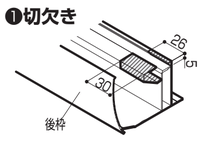
梁取付用 ※〈柱ユニット〉
座金組込六角ボルト（M6×20）

※D35・39サイズ：雨樋枠・母屋ユニット

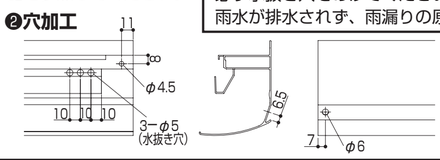
長さ切詰めする場合

切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。
後枠は加工が異なるため、下記を参照してください。

❶切欠き



❷穴加工

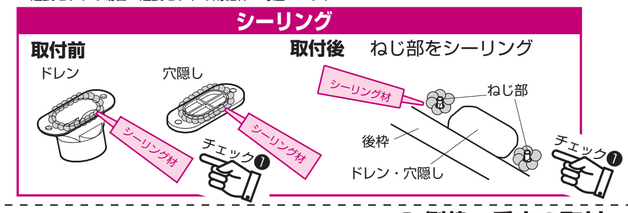


お願い

必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨漏りの原因になります。

シーリング

取付前 ドレン 穴隠し **取付後** ねじ部をシーリング

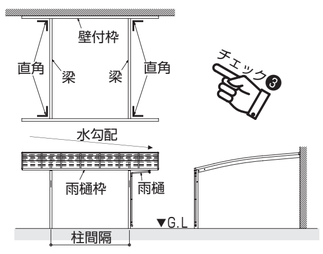


7.寸法確認・調整

❶柱の間隔・垂直
❷壁付枠と梁・梁と雨樋枠の直角
❸雨樋枠（長さ方向）の水勾配
※雨樋取付側が水下側

ポイント

寸法がでていない場合は、部材を動かして調整してください。



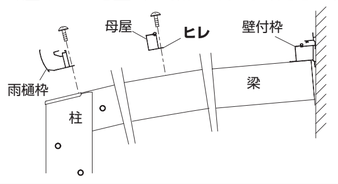
8.母屋の取付

母屋取付用 ※〈柱ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

※D35・39サイズ：部品ユニット

ポイント

母屋のヒレを壁付枠側に向けてください。



9.側枠・垂木の取付

側枠・垂木取付用 ※〈柱ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

※D35・39サイズ：部品ユニット

チェック❹

ポイント

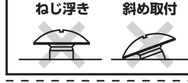
- 側枠端部に丸ラベルのある側が壁側です。
  ※D30サイズ前後の方向性なし。（丸ラベルなし）
- **壁付枠側 ➡ 雨樋枠側 ➡ 母屋部**の順でねじ止めすると、穴位置が合わせやすくなります。

雨樋枠キャップを取付けてください。

キャップ取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

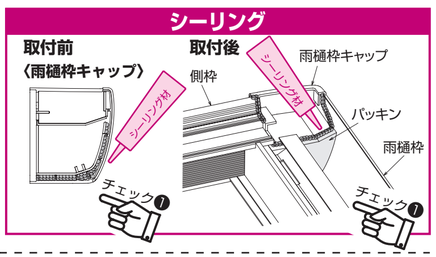
お願い

ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。



シーリング

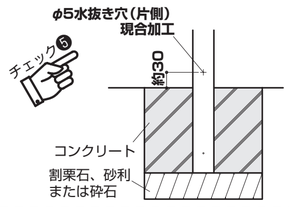
取付前 〈雨樋枠キャップ〉 **取付後**



10.本体の仮固定と柱・梁取付ボルトの本締め

❶再度寸法を確認してください。
❷柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

11.基礎コンクリートの打込み



注 意

屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4〜7日の養生期間が必要です。

お願い

凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

12.屋根材・屋根材押えの取付

取付前に、屋根材の養生フィルムをはがしてください。

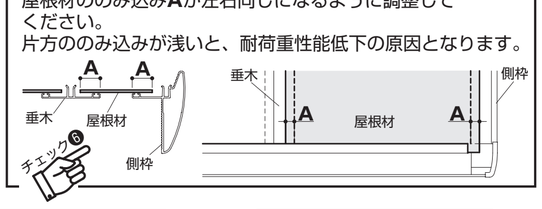
屋根材の取付

ポイント

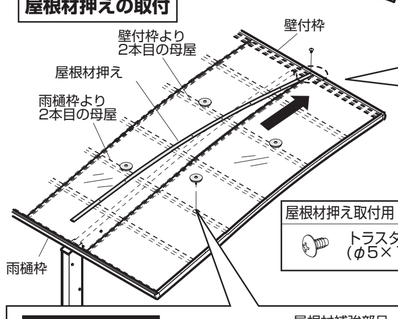
雨樋枠の奥に**あたるまで**押込んでください。

お願い

屋根材ののみ込み**A**が左右同じになるように調整してください。
片方ののみ込みが浅いと、耐荷重性能低下の原因となります。

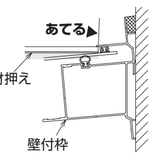


屋根材押えの取付



ポイント

- **壁付枠に押しあてる**
- ねじ止めは、**壁付枠側から順に行う**



チェック❼

お願い

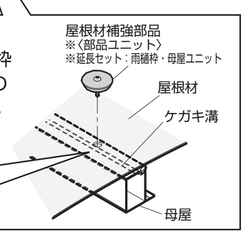
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。

屋根材押え取付用 ※〈柱ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

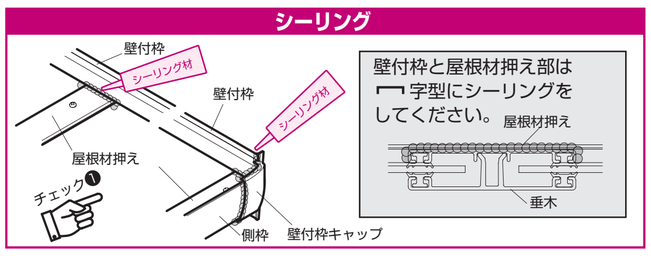
※D35・39サイズ：部品ユニット

D35・39サイズの場合

屋根材補強部品を、雨樋枠および壁付枠より2本目の母屋に取付けてください。



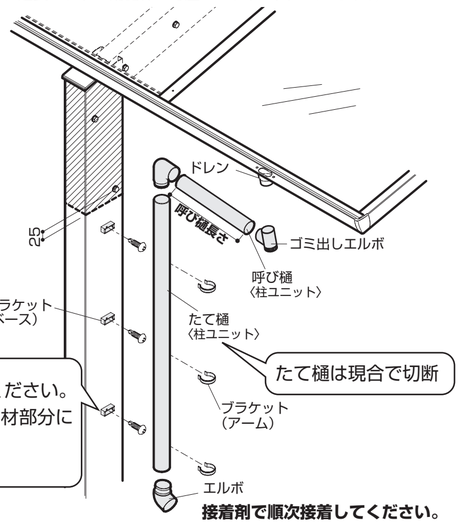
シーリング



壁付枠と屋根材押え部は ⌐ 字型にシーリングをしてください。

13.雨樋の取付

〈たて樋・呼び樋以外の部品（雨樋セット）は、柱ユニット（D35・39サイズ：部品ユニット）に入っています。
延長セットの雨樋セットは、延長セットの雨樋枠・母屋ユニットに入っています。〉



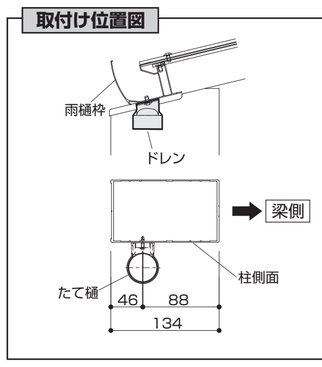
ブラケット（ベース）取付用 〈部品ユニット内の雨樋セット〉
なべドリルねじ（φ4×16）

接着剤で順次接着してください。

ポイント

以下の場合は、柱に下穴φ3.5をあけてください。
- D35・39サイズで斜線部のジョイント材部分に取付ける場合
- 補強材入り柱に取付ける場合

取付け位置図



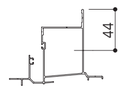
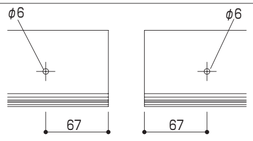
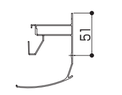
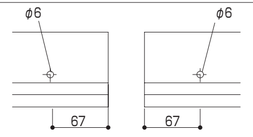
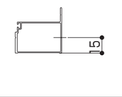
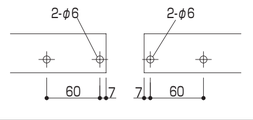
柱標準位置での呼び樋長さ

呼称	切断寸法
延長（L14）	331
L50	673

たて連棟する場合

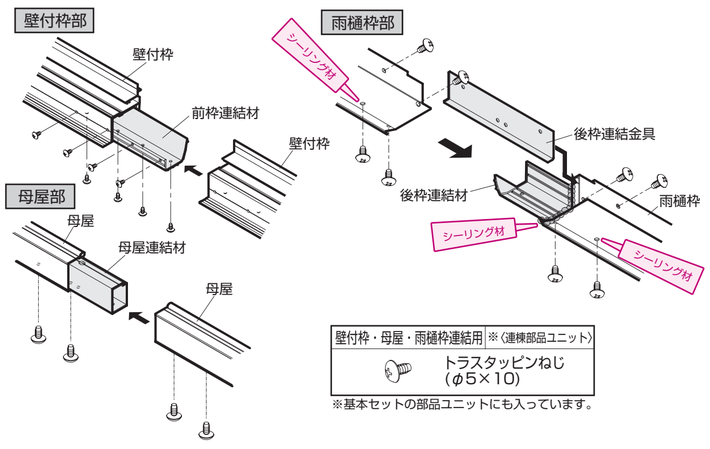
1.部材の加工

壁付枠・雨樋枠・母屋の連結部に穴加工（φ6）を行ってください。

	形材断面図	加工内容
壁付枠		
雨樋枠		
母屋		

2.たて連棟する場合の組立

1 壁付枠・母屋・雨樋枠の連結 〈部品は連棟部品ユニットに入っています。
延長セットの場合は、延長セットの雨樋枠・母屋ユニットに入っています。〉

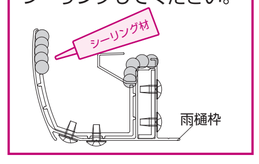


壁付枠・母屋・雨樋枠連結用 ※〈連棟部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

※基本セットの部品ユニットにも入っています。

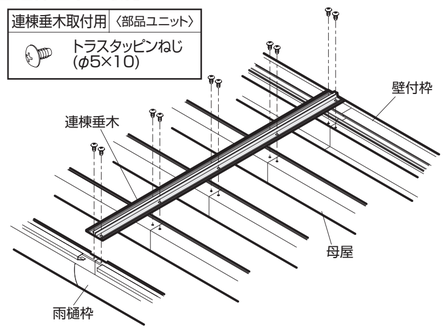
シーリング

雨樋枠を組立後、接合部にシーリングしてください。



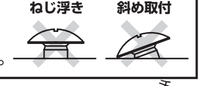
2 連棟垂木の取付

連棟垂木取付用 〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）



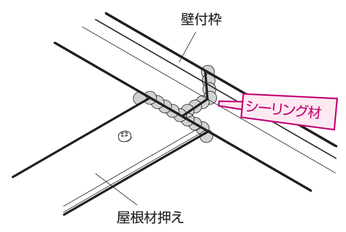
お願い

ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。

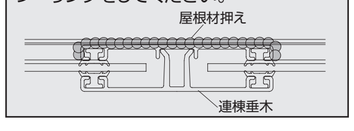


チェック❹

3 壁付枠接合部のシーリング



壁付枠と屋根材押え部は ⌐ 字型にシーリングをしてください。



組立・施工説明書 リアルポートⅢ レギュラー壁付タイプ 壁付斜め切詰め

DAISEN

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- ●本説明書は「**リアルポートⅢ レギュラー壁付タイプ**」壁付枠斜め切詰めを行う際の、部材・部品および屋根材の加工要領について説明しています。
  本体の組立・施工については、本体に同梱の組立・施工説明書をご覧ください。
- ●部材の切詰め・加工の際は、事前に部材の仮配置等を行い切断箇所を確認してください。
- ●本説明書は外観左側切詰めについて説明しています。
  外観右側切詰めの場合は、勝手違いに切詰め・加工を行ってください。
- ●部材切断の際は、切断片の飛散にご注意ください。
- ●水密材のかしめ部分を切断する場合は、水密材の縮みによる漏水を防止するため、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。

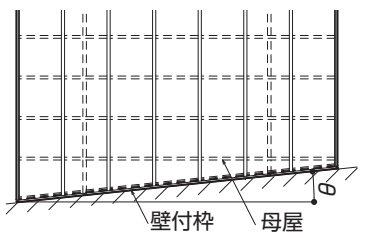
本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

シーリングは必ず実施してください！

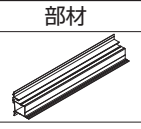
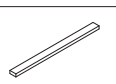
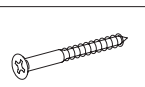
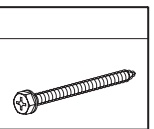
- ●「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
  シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
- ●ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。(別途手配品)

注　意

母屋をまたいだ切詰はできません。



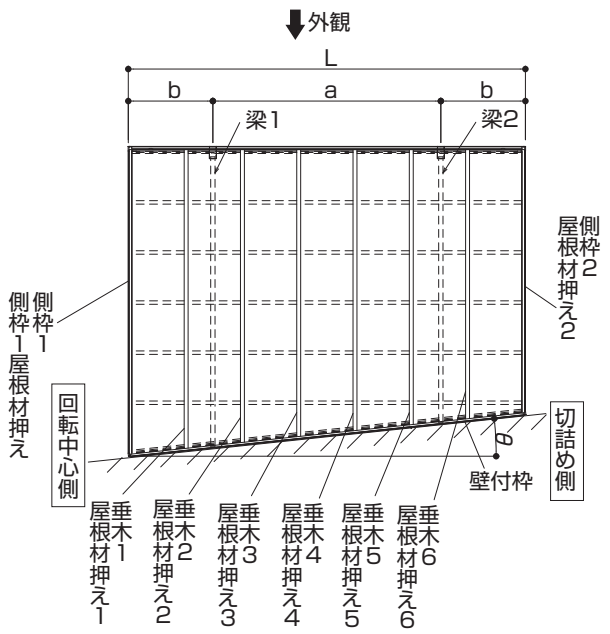
同梱内容

	部材	部品					
姿　図							
部材・部品名	壁付枠	バックアップ材	穴塞ぎシール (φ14)	皿木ねじ (φ3.8×40)	カラー	ワッシャ	座金組込コーチねじ (φ6×90)
品　番	−	K-27652	K-40433	WF-3840	K-32761	K-6365	3K-15126
個　数	1	1	12	2	2	2	12
備　考		L=5200	壁付枠穴位置変更用	壁付枠仮固定用	壁付枠仮固定用	壁付枠仮固定用	壁付枠取付用

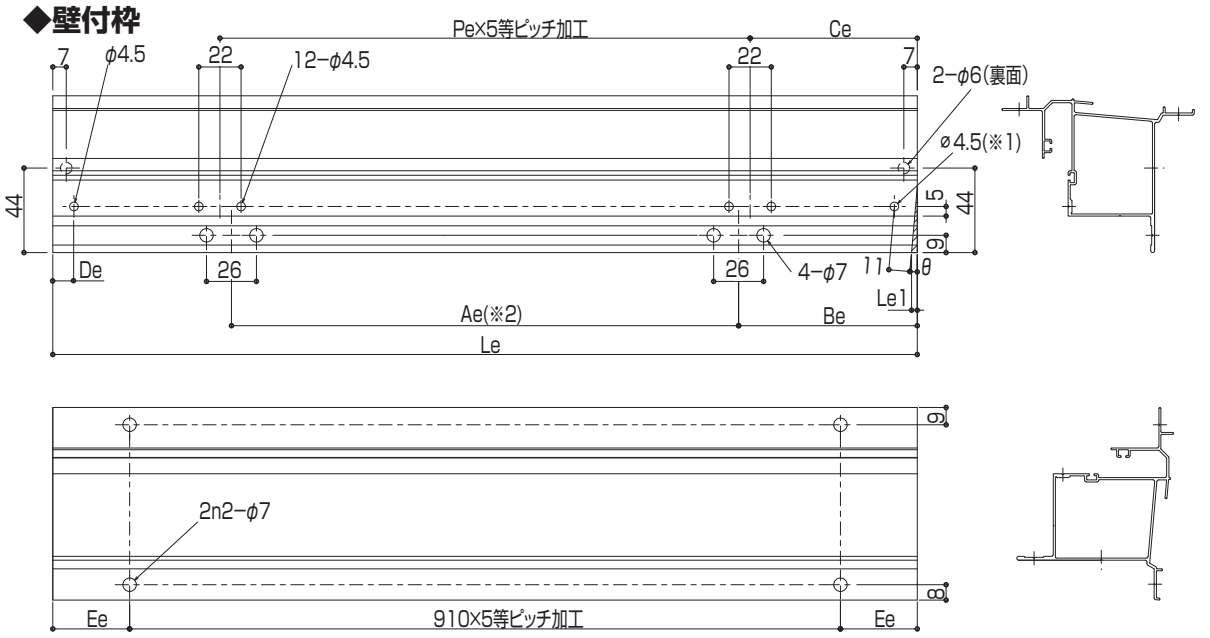
◆対応角度

	D30	D35 D39
θ	0°～5°	0°～6°

切詰め・加工要領 (単位：mm)



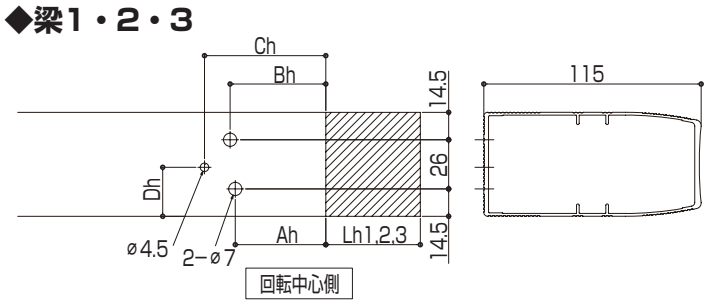
◆壁付枠



※1：当該φ4.5穴以外は斜線部の切断前にケガいてください。
※2：柱移動した場合は、柱の移動分穴位置をずらしてください。

θ(度)	Le	Ce	De	Pe	Le1	Ee	Ae	Be
0	5012.0	716.0	11.0	716.0	0.0	231.0	2900.0	1056.0
1	5012.8	716.3	10.8	716.1	0.6	231.4	2900.4	1056.6
2	5015.1	716.8	10.7	716.4	1.2	232.5	2901.8	1057.5
3	5018.9	717.5	10.5	717.0	1.8	234.4	2904.0	1058.8
4	5024.2	718.4	10.3	717.7	2.4	237.1	2907.1	1060.3
5	5031.1	719.6	10.2	718.7	3.0	240.6	2911.1	1062.2
6	5039.6	721.0	10.0	719.9	3.6	244.8	2916.0	1064.4

◆梁1・2・3



柱移動した場合は、2ページの「**柱移動した場合**」を参照し、切断寸法を算出してください。

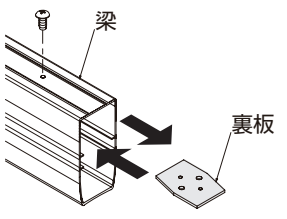
θ(度)	Lh1	Lh2	Ah	Bh	Ch	Dh
0	0.0	0.0	53.5	53.5	68.5	27.5
1	18.4	69.0	53.3	53.7	68.5	27.2
2	36.9	138.1	53.1	54.0	68.5	27.0
3	55.3	207.3	52.9	54.3	68.6	26.7
4	73.8	276.6	52.7	54.5	68.6	26.5
5	92.3	346.0	52.6	54.8	68.6	26.2
6	110.8	415.6	52.4	55.2	68.7	25.9

ポイント

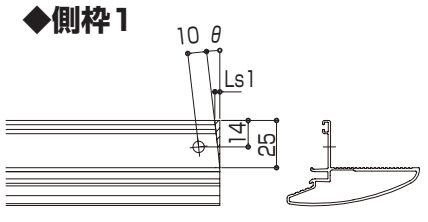
梁の壁付枠側端部には裏板が取付いています。

❶梁切断前に裏板を取りはずしてください。

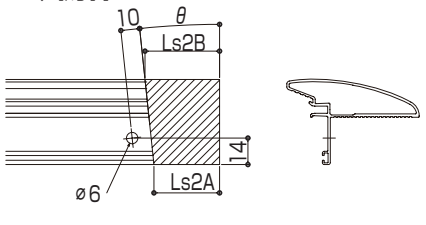
❷切断・穴加工後は裏板を穴位置に合わせて再度取付けてください。



◆側枠1

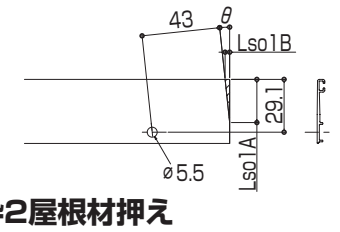


◆側枠2

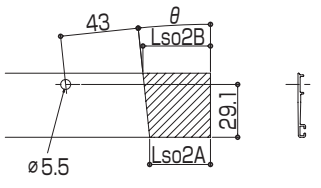


θ(度)	Ls1	Ls2A	Ls2B
0	0.0	0.0	0.0
1	0.4	87.0	87.8
2	0.9	174.1	175.7
3	1.3	261.4	263.7
4	1.7	348.7	351.9
5	2.2	436.3	440.2
6	2.6	524.2	528.9

◆側枠1屋根材押え

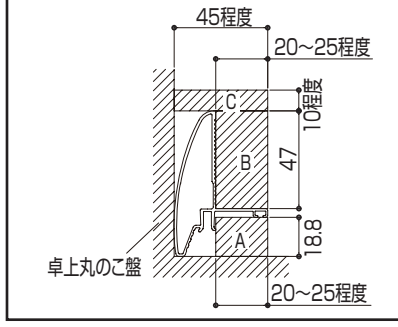


◆側枠2屋根材押え



θ(度)	Lso1A	Lso1B	Lso2A	Lso2B
0	25.0	0.0	0.0	0.0
1	24.8	0.4	87.0	87.7
2	24.7	0.9	174.1	175.4
3	24.5	1.3	261.3	263.2
4	24.4	1.7	348.7	351.1
5	24.2	2.1	436.2	439.3
6	24.1	2.5	524.1	527.8

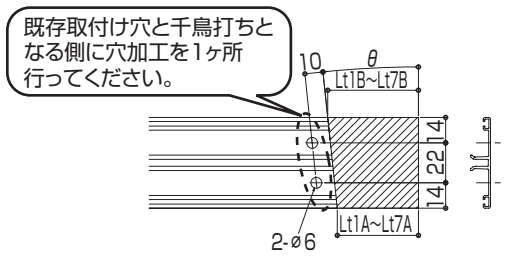
側枠を切断する際は、正確な角度で切断するために、下図のように木片や平板(A～C)等を利用し、部材を垂直に固定して切断してください。



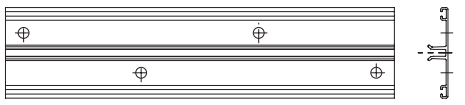
組立・施工説明書 リアルポートⅢ レギュラー壁付タイプ 壁付斜め切詰め

切詰め・加工要領（単位：mm）

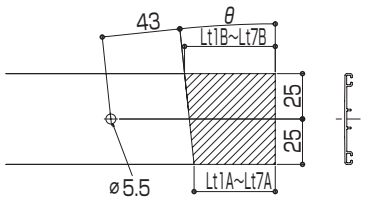
◆垂木1～6



●千鳥打ち



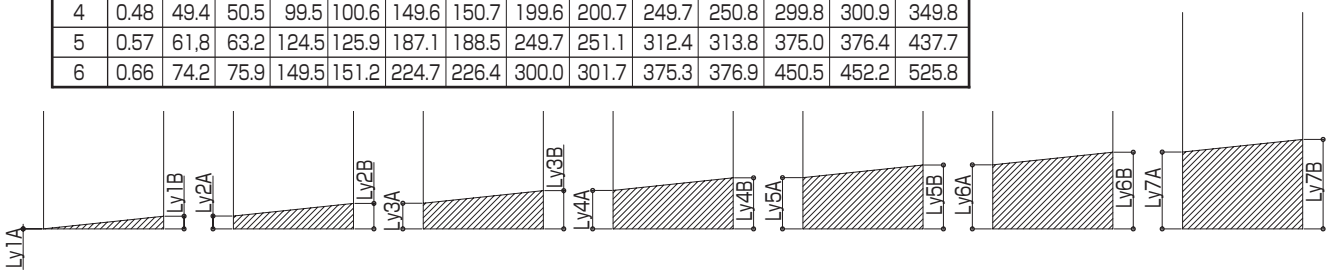
◆屋根材押え1～6



	垂木1		垂木2		垂木3		垂木4		垂木5		垂木6	
θ(度)	Lt1A	Lt1B	Lt2A	Lt2B	Lt3A	Lt3B	Lt4A	Lt4B	Lt5A	Lt5B	Lt6A	Lt6B
0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	12.1	12.9	24.6	25.4	37.1	37.9	49.6	50.4	62.1	62.9	74.6	75.4
2	24.1	25.9	49.1	50.9	74.1	75.9	99.1	100.9	124.1	125.9	149.1	150.9
3	36.2	38.8	73.7	76.4	111.3	113.9	148.8	151.4	186.3	188.9	223.8	226.5
4	48.3	51.8	98.4	101.9	148.5	152.0	198.5	202.0	248.6	252.1	298.7	302.2
5	60.5	64.8	123.1	127.5	185.7	190.1	248.4	252.8	311.0	315.4	373.7	378.0
6	72.6	77.9	147.9	153.1	223.1	228.4	298.4	303.6	373.6	378.9	448.9	454.2

◆屋根材

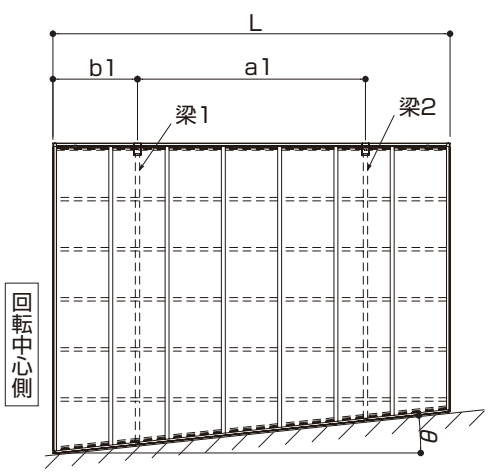
θ(度)	Ly1A	Ly1B	Ly2A	Ly2B	Ly3A	Ly3B	Ly4A	Ly4B	Ly5A	Ly5B	Ly6A	Ly6B	Ly7A	Ly7B
0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.13	12.4	12.6	24.9	25.1	37.3	37.6	49.8	50.1	62.3	62.6	74.8	75.1	87.3
2	0.26	24.7	25.3	49.7	50.3	74.7	75.3	99.7	100.3	124.7	125.3	149.7	150.3	174.7
3	0.37	37.1	37.9	74.6	75.4	112.1	112.9	149.6	150.5	187.2	188.0	224.7	225.5	262.2
4	0.48	49.4	50.5	99.5	100.6	149.6	150.7	199.6	200.7	249.7	250.8	299.8	300.9	349.8
5	0.57	61,8	63.2	124.5	125.9	187.1	188.5	249.7	251.1	312.4	313.8	375.0	376.4	437.7
6	0.66	74.2	75.9	149.5	151.2	224.7	226.4	300.0	301.7	375.3	376.9	450.5	452.2	525.8



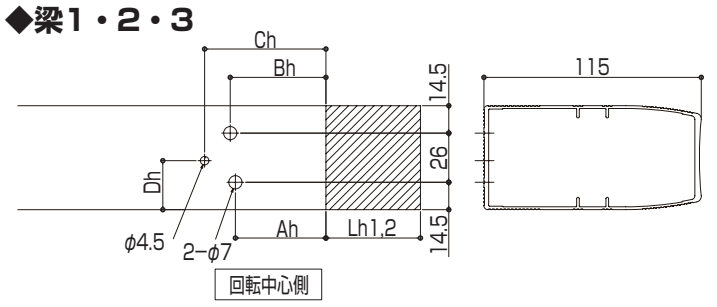
ポイント

左図は太陽光のあたる面を上にした状態を示しています。

柱移動した場合



◆梁1・2・3



算出式

Lh1=(b1－20)×tanθ－28.5/tanθ＋28.5
Lh2=(b1＋a1－20)×tanθ－28.5/tanθ＋28.5

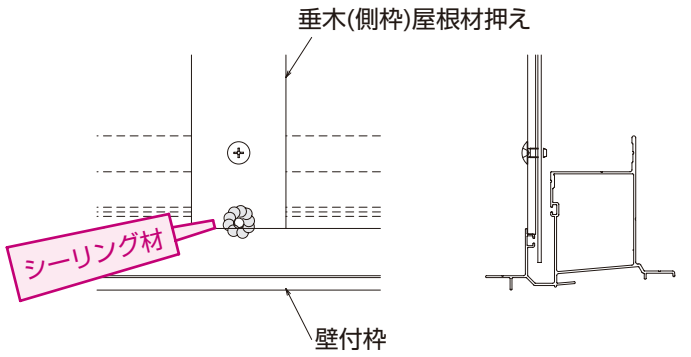
b1:側枠端部～梁中心の距離
a1:柱ピッチ

Ah=53.5/cosθ－13tanθ
Bh=53.5/cosθ＋13tanθ
Ch=53.5/cosθ＋15cosθ
Dh=27.5－15cosθ・tanθ

θ(度)	tanθ	cosθ
0	0	1
1	0.01746	0.99985
2	0.03492	0.99939
3	0.05241	0.99863
4	0.06993	0.99756
5	0.08749	0.99619
6	0.10510	0.99452

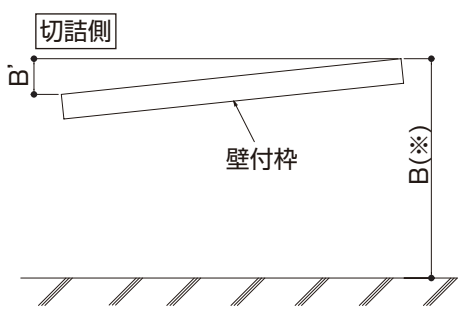
シーリング時注意点

図のように垂木（側枠）屋根材押え材の既存の穴が部材接合部で重なる場合は、漏水を防ぐために穴の周囲を入念にシーリングしてください。



壁付枠取付時の注意

壁付枠は切詰め側の部材上部をB'低く取付けてください。



θ(度)	B'
0	0
1	1.5
2	6.1
3	13.8
4	24.6
5	38.5
6	55.7

呼称	B
D30	3025
D35	3075
D39	3119

(※)本体に同梱の組立・施工説明書「寸法図」参照